

## ニュースリリース

日興アセットマネジメント株式会社

### 欧州子会社が世界銀行債券に投資するグリーンファンドを新規設定

～ 世界債券市場を活用し、気候変動問題に取り組むプロジェクトへの資金提供を実現する  
世界銀行と協同開発ファンド ～

日興アセットマネジメント株式会社(取締役会長兼 CEO: ティモシー・マッカーシー、以下「日興 AM」)は、欧州子会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド(以下「日興 AM ヨーロッパ」)が、ヨーロッパならびに中東の投資家向けに、投資機会を提供する世界銀行との協同開発ファンドを設定することを発表しました。

このファンドは、日興 AM が設定した国内公募投信と並んで世界初のグリーンボンドに投資する世界銀行(国際復興開発銀行: IBRD、格付け:Aaa/AAA)との協同開発ファンドであり、グリーンボンドの組入れ比率を最大100%とすることが可能です。グリーンボンド発行により調達された資金は、世界銀行を通じ開発途上国における気候変動問題に取り組むプロジェクトの支援に利用されます。

世界銀行がグリーンボンドを通じて支援する活動には、エネルギー効率の向上、代替エネルギーの導入、温室効果ガス排出を軽減する新技術の開発、中南米・東欧・アジア地域など、さまざまな国における森林再生等が含まれます。世界銀行は、気候変動問題への取り組みにおいて主導的な役割を担っており、2008年以降、総額約10億米ドルのグリーンボンドを発行しています。また、世界銀行は、投資家のニーズや、加盟国からのこうしたプロジェクトへの金融支援の需要に対応するため、グリーンボンド・プログラムを継続していく予定です。

世界銀行と日興 AM ヨーロッパは、債券投資を行なう国際的な市場参加者の大きな資金力を活用することで、温室効果ガス削減プロジェクトをサポートし、各国が気候変動の影響に適応できるよう支援することを主な目的としてこのファンドを開発しました。

日興 AM ヨーロッパが先進国および新興国から投資対象通貨を決定し、世界銀行がグリーンボンドを発行する予定です。当ファンドはアクティブ型の運用手法を採用し、その運用を、スチュアート・キナーズリー(日興 AM ヨーロッパ最高投資責任者)、ジャスティン・イールズ(同シニア・ポートフォリオマネージャー)、サイモン・ダウ(同シニア・ポートフォリオマネージャー)の3名が担当します。

当ファンドはルクセンブルグ籍 UCITS III ファンドとして設定され、受益証券クラスは英ポンド、米ドル、ユーロの3クラスとなります。

世界銀行の副総裁兼トレジャラーのケネス・レイ氏は次のようにコメントしています。「人類の発展は地球環境が維持されて可能であり、それは官民双方の資金提供がなされて初めて実現されます。新たに設定されるこのファンドを通じて、投資家のみなさまが高格付けの信頼と投資リターンを享受しつつ、子供たちによりよい地球を残す投資機会を提供します。」

日興 AM ヨーロッパ社長 チャールズ・ビーズリーは次のように述べています。「社会的、そして環境的にも大きな意義を持つプロジェクトに世界銀行と協同で携わることができ誇りに思います。世界中の投資家の多くは、投資資金を環境に直接役立てられるような、高い信頼性と透明性を兼ね備えた機関投資家向けの商品の登場を心待ちにしていたと思います。世銀債での運用という安全性と、世界銀行という高い信頼性を誇る世界的機関がサポートする環境プロジェクトの支援であるという安心感、この両方を投資家へ提供できることが当ファンドの主な特色です。」

---

#### 重要なお知らせ

本プレスリリースは、お知らせを行なうことのみを意図しており、報道機関だけを対象としています。従って、個人投資家またはアドバイザーは、本資料を根拠に投資判断を行なうべきではありません。本プレスリリースを米国で配布することはできません。また、米国内、あるいは有価証券に係る販売の申し出、またはその購入を申し出る勧誘が違法となる法域において、かかる申し出や勧誘に該当するものではありません。

当ファンドは、金融グループ、年金ファンド、銀行、ファミリーオフィス、投資一任会社をはじめ、世界中のさまざまな機関投資家を対象に提供されます。

長年にわたり世界銀行と強固な関係を築いてきた日興 AM は、2007 年に世界銀行との第一弾協同開発ファンドを設定しています。新興国への投資を行なう第一弾ファンドは、日本国内の投資家にご支持いただき、2010 年 1 月末の純資産総額が 1,600 億円に達しています。日興 AM はこれまでも SRI(社会的責任投資)ファンドを世に送り出しておりますが、今後も投資家のみなさまにさまざまな投資機会をご提供できるよう一層尽力していきます。

### 世界銀行について

世界銀行は、一般に、国際復興開発銀行 (IBRD) と国際開発協会を意味します。1945 年に設立された IBRD (International Bank for Reconstruction and Development) は、世界銀行グループのうち最も歴史が長く、また単一機関としては最大の開発資金の融資機関となっています。IBRD は中所得国および信用力のある貧困国に融資、保証、および分析・助言サービスなどの非融資業務を提供し、持続可能な開発を推進することで、これらの国の貧困を削減することを目指しています。過去の融資から得られた利益は、開発活動の原資になるだけでなく、IBRD の財務の健全性を示す指標となり、IBRD が資本市場から低利で資金を調達し、借入国に緩やかな条件で融資を提供することを可能にしています。

### 日興アセットマネジメントについて

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号  
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

日興アセットマネジメント(以下、日興 AM)は、設立以来半世紀にわたり、わが国をリードする資産運用会社として、個人投資家のみなさまには多様な金融商品を、機関投資家のみなさまには投資顧問事業を通じて付加価値のある高品質なサービスを提供しています。

日興 AM の投資信託は、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など約 200 社に及ぶ販売会社のネットワークを通じて、お客さまに提供されています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する「ワールドシリーズ」プラットフォームを展開することで、お客さまのニーズに合った幅広い商品をお届けしています。

日興 AM は、1999 年の国内初の社会的責任投資(SRI)ファンドの設定以降、長年にわたり社会的責任投資(SRI)や環境・社会・企業統治を評価基準とする投資(ESG 投資)を世界規模でサポートしてきました。国連の責任投資原則(PRI)に署名参加しているほか、社会的責任投資フォーラム(SIF)のメンバー、アジア太平洋地域における持続可能な社会責任投資活動の振興を目的とする非営利団体である ASRIA(Association for Sustainable & Responsible Investing in Asia)の設立メンバーです。

国内の資産運用会社として他に先駆けて ISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を 2001 年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。

運用担当者の責任明確化、調査部門と運用部門の連携強化、リスク管理体制の整備など、これまで運用力向上のため行なってきた取組みが実を結び、リッパー・ジャパン、アジアインベスター、R&I などの外部評価機関から、権威ある賞を受賞しています。

日興 AM グループ\*の運用資産残高は約 10.1 兆円(2009 年 12 月末現在)\*\*に上り、ロンドン、ニューヨーク、シンガポールに海外拠点を有しています。

\*「日興 AM グループ」とは日興アセットマネジメント株式会社とそのグループ会社の総称です。

\*\*日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)です。